

授業科目

眼科学I

担当教員名 阿部 春樹	対象学年	1	対象学科	視機
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎		◎	○	

授業の概要

感覚器として視覚を担っている眼球とその付属器について、基礎医学的および臨床医学的な知識を学ぶ。

授業の目的

現代医学における眼科学についての総論を学び、眼科学の基礎を習得する。

学習目標

1. 眼科学の歴史が理解できる。
2. 視覚器の構造が説明できる。
3. 主要な眼疾患が理解できる。
4. 眼科学の新しい知見を説明できる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	眼の構成概略、眼球と付属器の構造と機能	講義	阿部 春樹
2	眼の主要な血管系、視神経、視路と視中枢	講義	阿部 春樹
3	眼疾患の問診、眼疾患の所見と症状	講義	阿部 春樹
4	眼疾患の検査の進め方、小児の検査法と救急対応	講義	阿部 春樹
5	角膜の構造と機能、角膜の検査法、角膜疾患	講義	阿部 春樹
6	角膜移植、強膜の構造と機能、強膜疾患	講義	阿部 春樹
7	ぶどう膜の形態と機能、ぶどう膜の先天性疾患、ぶどう膜の腫瘍性疾患、ぶどう膜の炎症性疾患	講義	阿部 春樹
8	ぶどう膜炎の分類・疫学・症状・所見・治療、内因性ぶどう膜炎・感染性(外因性)ぶどう膜炎	講義	阿部 春樹
9	前眼部の構造、房水の産生と流出の経路	講義	阿部 春樹
10	水晶体の構造と生理、水晶体の病変、白内障	講義	阿部 春樹
11	白内障の手術適応・術式と選択・合併症、術後の視機能の回復	講義	阿部 春樹
12	眼瞼の形態・運動・機能異常、眼瞼の炎症、結膜のアレルギー疾患、細菌感染症	講義	阿部 春樹
13	結膜のウイルス感染症と感染予防法、涙器の疾患	講義	阿部 春樹
14	屈折と眼光学の知識 屈折・調節異常の治療	講義	阿部 春樹
15	まとめ	講義	阿部 春樹

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	標準眼科学 第13版	木下茂(編) 他	医学書院	2016年	7,000円+税	視覚系構造・機能・病態と同じ
参考書						
その他の資料	必要に応じて資料を配布する。					

評価方法

定期試験 80%
提出物 20%

履修上の留意点

再試験・追試験は必要があれば、原則として1回のみ実施する。
締め切りをすぎた提出物は原則として受け取らない。

オフィスアワー・連絡先

毎週月曜日 18:00~18:30
P308
haruki-abe@nuhw.ac.jp